

みんなで学び育てよう「たくましい子 本庄の心」

平成19年8月24日に開催された「第55回 日本PTA全国研究大会 滋賀びわこ大会 第8分科会」でご発表をいただいた高島市立本庄小学校PTAによる食についての学習の取組事例を紹介します。



食についての学習の取組事例

【親子ひびきあい活動】

(1) 子どもが作った野菜で「親子カレー」(平成18年10月・3年)

3年生は、「ふるさと」(総合的な学習)の時間に、自分の住む地域をよく知りそのよさを学ぼうとする学習を進めている。主として、地域で栽培されている野菜について農家の畑を見学して調べたり、農家の方に教えてもらいながら学校園でそれら(ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、黒大豆等11種類)を栽培したりした。

10月のひびきあい活動の前日には、子どもたちが収穫したジャガイモやニンジン、タマネギを使ったカレーづくりをし、当日は軽スポーツを親子で楽しんだ後、試食した。

子どもたちが作ったカレーライスは、親にたいへん好評だった。3年生でもこのように調理できることを感心する声もあった。

<実施後の親の感想>

- 軽スポーツの後、食育活動として3年生が授業で育てたジャガイモ、ニンジン、タマネギなどの野菜を使って調理したカレーを親子でおいしくいただいた。
- 子どもたちの作ったカレーはとてもおいしく「おいしい」というとみんな満足そうだった。

(2) 「アドベリーを使ってフルーツポンチ」(平成18年11月・5年)

活発で男子の多い5年生。最近はおやつとして、ジュースを飲んだりスナック菓子を食べたりすることが多い子どもたち。そこで、「おやつやジュース」と題して、栄養士さんに講話をしていただき、親子で学習した。その後、子どもたちが「ふるさと」の時間に調べ学習をした地場産フルーツ「アドベリー」を使ったおやつを作った。

<実施後の親の感想>

- おやつ袋に記載してある“栄養成分表示”を分かりやすく説明していただき、子どもたちや保護者の方も驚きの話だった。
- アドベリーは子どもたちが勉強していた食材なので味わっていただくことができた。
- 男の子が多いクラスなので、調理に対する進捗が心配されたが、どの子も積極的に活動に参加することができ、親子で楽しいひとときを過ごすことができた。

(3) 親子給食(平成19年5月・1年)

入学して1ヶ月余りがすぎた5月21日、1年生が給食センターの栄養士さんに給食や栄養についてのお話を聞いている様子を授業参観。その後、親には懐かしい給食を、中庭で一緒にいただいた。家での普段の食事より量が多いと感じられる親。いつもと違う雰囲気喜んで食べている顔の子どもたちがほほえましく感じられた。